

from ボランティアセンター

ボランティアセンター
月～金曜日 午前8時半～午後5時15分



042-475-0739

災害ボランティア情報:ホームページ、メール配信にて随時お知らせしています。

お知らせ ボランティア交流室の使用について

図書や印刷機、ビデオの貸し出しの他、ボランティア・市民活動団体やNPO法人、個人でも利用可能なフリースペースとして運営しています。コロナ禍では感染拡大防止のため当分の間一部制限を設けての開放となりますが、ボランティア・市民活動団体の定例会等にご活用ください。



▲使用人数を制限するため、イスの数を減らしています

【交流室使用時の注意事項】

- ・当日の使用前に体温を測定し、発熱の有無を確認してください。なお、以下の①から④に該当する場合は、使用しないでください。
- ①発熱がある場合
- ②体調がすぐれない場合(例:咳・咽頭痛・味覚障がい等の症状)
- ③同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
- ④入国制限・観察期間等がある海外から2週間以内に帰国した場合(当該者と濃厚接触した場合を含む)
- ・使用の際は、「ボランティア交流室利用者名簿」に記入してください(社協窓口にてお渡しします)。
- ・使用後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかにボランティアセンターに連絡してください。
- ・使用責任者は、当日の利用者を全員把握し、迅速に連絡できるようにしてください。
- ・一度に使用できる人数は7人以内とします。
- ・マスクを持参し着用してください。
- ・使用前と使用後に手洗い、うがい、手指、机の消毒をしてください。
- ・使用中は窓、扉を開けてください。
- ・人との間隔を最低1m以上開けてください。
- ・食事は禁止します。
- ・ゴミは各自持ち帰ってください。
- ・他団体と利用が重なった場合は譲り合って使用してください。

なお、以上の注意事項を遵守されない場合は、他の使用者の安全を確保する等の観点から、使用の中止を求めることがあります。また、緊急事態宣言発出中は交流室の使用は原則中止とします。その他ボランティア交流室に関する詳細は、社協ホームページをご覧ください。

お知らせ 自宅でできる! 収集ボランティアのご紹介

ボランティア活動には様々な形態がありますが、収集・寄付は特別な準備が必要なく、比較的取り組みやすい活動のひとつです。社協では、ペットボトルキャップ及び使用済み切手の寄付を受けています。

- 《受付》
- 社会福祉協議会(わくわく健康プラザ2階)
平日 午前8時半～午後5時15分
 - 中央町地区センター(中央町6-1-1)
火曜・祝日を除く午前9時～午後5時

※使用済み切手は、台紙からはがす必要はありません。また、写真のように切手の四方を1cm程度残して切り取ってください。

《寄付後の使い道》

ペットボトルキャップは、市内障がい者福祉施設にお渡しして仕分け・洗浄後、支援団体を通して破傷風等のワクチンに交換され、世界の子どもの支援に活用されます。使用済み切手は、市内の業者を通して換金し、社協の事業に活用します。

使用済み切手の例



募集 令和3年7月 大雨災害被災地域への支援金・義援金

令和3年7月1日以降の大雨により、静岡県、島根県、鹿児島県、広島県で土砂崩れ等の災害が発生しています。これを受け、中央共同募金会では、支援金及び義援金を受け付けています。

- 《受付期間》
- 災害ボラサポ(支援金):令和3年12月31日(金)まで
 - 義援金:令和3年9月30日(木)まで

詳細は、中央共同募金会ホームページ(<https://www.akaihan.or.jp/saigai-news/>)をご覧ください。

●支援金と義援金の違い

- 支援金…被災地で支援活動を行う機関や団体(NPOやNGO等)を支援するお金
- 義援金…被災者一人ひとりに配分するお金で、支援金とは異なり支援団体や行政が行う復興事業等には使用されません。



【中央共同募金会HP】

募集 マジックの披露

「マジックBOX」では、会員が毎月2回集まり、マジックの研究をしてその成果をいろいろな施設や団体に披露しています。2020年よりコロナの影響で披露の機会がなくなりました。そろそろ活動を開始したいと思っています。お声掛けください。

- 【日時】 応相談
- 【活動内容】 マジックを見ていただき、元気を出してもらって。見ていただく方の状況に合わせた内容を用意します。ご希望の場所まで伺います。
- 【団体名】 マジックBOX
- 【問い合わせ】 ☎042-471-6022 / ☎080-5014-6022 (松澤 まつざわ)



◀おれを使ったマジックを披露。見やすくして面白く好評です

《地域福祉コーディネーター事業》

ちょっと気になる 身近な困りごとは 地域福祉コーディネーターへ

たとえば

こんなことはありませんか

- 窓口まで相談に行くことができない...
- こんなことまで相談してもいいのかしら?
- 心配な人がいるけどどうしたらよいか?



お気軽にご連絡ください
あなたとあなたのまわりの
悩みごと・困りごと・やってみたいこと

☎042-475-0739
(ボランティアセンター)

生活の中での悩みや困りごと、地域の中で感じていることや気になっていることなど、自分だけではなくお知り合いのことでも結構です。地域の皆さまと協力して解決に向けたお手伝いをします。

- ★一人ひとりのご相談を受けとめ、解決に向けてお手伝いします。ご相談にあった情報を提供したり、人と人をおつなぎします。(個別支援)
- ★「誰もが住みよいまち」をつくる仕組みづくりをお手伝いします。(地域支援)

市受託事業として西部地域(小金井街道西側の地域)に地域福祉コーディネーター1名を配置しています。

〈広告〉

ご自宅や入所施設で受けられます

医療マッサージ ・身体機能訓練

国家資格を持ったマッサージ師が、身体機能の維持・回復を目的とした施術を行います

対象者/病気やケガによる筋麻痺・関節拘縮などがあり、寝たきり・歩行困難・歩行介助が必要な方など

料金/施術料と往療料(交通費)を含め自己負担額1割の場合、1回あたり300円～600円程度

詳しくはお問い合わせください



てあて在宅マッサージ 介護予防のための講習会



てあて在宅マッサージ



てあて在宅マッサージ

やさしい心とあなたの手をお届けします

株式会社てあて ●所沢市東所沢1-3-1 ●小平市花小金井1-4-16-1

無料 お試し体験 実施中!! ☎0120-405-032

専用窓口のオペレーターが対応いたします

健康保険適用

●てあては医療機関と同等の感染症対策を講じ、ワクチン接種及び全職員、2週間毎のPCR定期検査を実施しております

お問い合わせは— ホームページからどうぞ



ご案内

お話を聞くだけでもかまいません お気軽にご参加ください
～ひがしくるめ ひきこもり家族会準備会～

- 日時 10月10日(日)、11月14日(日)、12月12日(日)
- 場所 /中央町地区センター2階 第三・四会議室(中央町6-1-1)
- いずれも午後2時～4時(午後1時45分受付、入退室自由)

- 【対象】 ひきこもり状態にある本人または家族
- 【定員】 20人[各開催日の4日前までに申し込み]
- 【内容】 参加者同士の交流
- 【参加費】 無料
- 【申し込み】 電話、ファクス、メール、申込フォームにて、①氏名(ふりがな) ②年代 ③お子様の年代 ④連絡先をお知らせください。



申込フォーム

上記イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止する場合があります。最新の情報は社協ホームページをご覧ください。

〈連絡先・問い合わせ〉市地域福祉コーディネーター事業
(社会福祉協議会ボランティアセンター)

☎042-475-0739 ☎042-476-4545
メール csw@higashikurume-shakyo.or.jp

〈参加者の声〉

- ★支援者がいて心強くなった。勇気を出して参加してよかった。
- ★他の人の気持ちとか聞いて良かった。自分の気持ちが話せた。
- ★当事者の方とも話ができて大変参考になりました。

